



心して病院に行けます。オーストラリアにも医療制度はあるけど、公立病院でしか使えないし、すごく待つ。命に別状のない手術は何年も待たなければいけないこともあるんです。



逆に、日本にいて困っていることもあり。保育園になかなか入れないことと、バリアフリー化が進んでいないこと...。妻は看護師をしているのですが、保育先が見つからなくて、一度仕事を辞めざるを得ないことがあります。早く復職したいのだけれど、保育園に入れない...。需要のある仕事なのに、職場には「保育園が決まってから」、保育園には「仕事が決まってから」と言われて、本当に困ったことがあります。もう少し平等に入れる仕組みがあればいいのになあと思います。それと、通路や駅で、ベビーカーが通りづらくて大変。駅に階段しかないとこもたくさんあるし、スロープも狭い。東京は世界の大都市の一つなのに、こんなにバリアフリー化が進んでいないのは、恥ずかしいかなと思います。少子化対策でバリアフリー化の整備もさらに進めてほしいです。

二人で話し合う時間を大切に

ストレスも不安も一緒に分け合う

お互い、話す時間を大切にしています。子どもが寝た後に二人で話す時間を作っています(疲れたら寝ちゃうけど...)。アイスやチョコを食べながら話すのが楽しみなんです。子どものことは、些細なことでも話します。どちらか一人で決めるといことはしません。相手

お互い、話す時間を大切にしています。子どもが寝た後に二人で話す時間を作っています(疲れたら寝ちゃうけど...)。アイスやチョコを食べながら話すのが楽しみなんです。子どものことは、些細なことでも話します。どちらか一人で決めるといことはしません。相手

ジェームスさん一家 (板橋区在住)



♥馴れ初め♥ホームパーティーにて♥二人の合言葉♥細かいことにはつつこまない!
♥お互いの好きなお店♥夫から:つらい時、大変な時に気づいてくれるところ。妻から:大変なときにすぐに気づいてサポートしてくれるところ。

お子さんに一言

- パパから- 子どもが選んだ仕事を応援してあげたい。自分の可能性をつかんでほしい。
- ママから- 優しく、強い子になってほしい。思いやりがあって間違ったことには違うと言える強さを身につけてほしい。

に決めてもらえば楽かもしれないし、意見が合わないときはストレスになることもあるけれど、父として、母として、子どもの将来をきちんと考えてあげたい。不安やストレスも二人で一緒に悩みます。一人が抱え込んで爆発しちゃうということがないから、お互いとってもありがたいと思っています。